



進路だより

第5号 令和6年7月19日
宮城県立石巻支援学校
進路指導部

高等部では、前期の現場実習が終了し、卒業後の進路先の検討がいよいよ本格的になってまいりました。保護者の皆様には、本校の進路指導に日頃より御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、進路だよりでは、各学部の進路指導に関係の深い学習を紹介しています。進路指導との関連で、「発達段階における育てたい力」につきましては、「進路の手引き」を御覧ください。

小学部 「出かけよう」(5・6年生 生活単元学習)

生活単元学習「出かけよう」では、6月21日(金)に全員そろって、イオン石巻へ校外学習に行ってきました。今回は、フードコートの3店舗の中から、事前にメニューを見て自分が食べたいものを選びました。事前学習では、メニューを注文する、金額を払う、お釣りを受け取る、品物を受け取るまで練習しました。当日は、買い物の手順について、事前学習を重ねることで見通しを持つことができました。言葉や指さし、カードなど自分なりの方法で店員さんに注文することができました。支払いも学習の成果を発揮し、出来上がった食事を自分で運ぶこともできました。今回の経験を9月の修学旅行で、昼食を買って食べる活動にも生かしていきたいと思います。



中学部 「松島へ泊まりに行こう」(中学部2学年宿泊学習)

6月20日(木)21日(金)、中学部2年生は松島で宿泊学習を行いました。

1日目は、徒歩と公共交通機関利用で松島自然の家まで行きました。まずは、学校から石巻あゆみ野駅まで2.2km、約40分の道のりを歩きました。券売機から切符を買って電車に乗り、野蒜駅まで行きました。そこから約10分、キボッチャまで歩きました。自分で歩き、公共交通機関を使って目的地まで行ったことは、生徒の自信になりました。



2日目は「奥松島遊覧船」に乗り、船からの眺めを満喫しました。心地よい揺れにみんな笑顔でした。

松島自然の家では荷物の管理やベッドメイキングを自分でやり、みんなで入浴をして一晩過ごしました。また、「焼き板作り」「キャンドルセレモニー」などの活動も楽しみました。宿泊学習を振り返り、自分の力でできたこと、友達と協力してできたことをお互いに称賛し合いました。学んだことを今後の生活に生かしていきたいです。

高等部 「現場実習報告会」

高等部では、前期の現場実習を振り返って「報告会」を行いました。生徒一人一人が画用紙に実習先、仕事内容、感想をまとめて、みんなの前に出て発表しました。以下に数名の感想を紹介します。

「前に声が小さいと言われていましたが、今回は意識して大きく言うことができました。」(2年男子) 「集中することが大事だと分かりました。」(2年女子) 「最初は難しいと思ったけれど、やっていくうちに上手にできるようになったのがうれしかったです。」(3年女子) 「休まず行けて良かったです。」(3年男子) 「コミュニケーションが大事だと思いました。」(3年女子)

今回の実習で学んだことを今後の学校生活に生かし、後期の現場実習に備えていきます。



現場実習を終えて ～実習先の方からのお話～



現場実習後、進路担当が実習先をまわり、評価や今後の課題を聞いてきました。今後の課題は、高等部の生徒だけでなく、小学部・中学部の児童生徒にも共通する課題となります。卒業後の生活へ向けて少しずつ身に身に付けられるよう支援していきたいです。

【生活介護】

○良い点

- ・穏やかに安定した気持ちで過ごすことができた。
- ・何にでもやる気を示した。
- ・とても明るく元気があって良い。

▲課題点

- ・事業所では職員数に限りがありマンツーマン対応はできないので、在学中に次のことを身に付けておいてほしい。
 - ☆一人で待つことができる。
(何か好きなことをしながら落ち着いて)
 - ☆自分の意志を伝える手段を身に付ける。
 - ☆自分でできることを増やす。

【一般就労】

○良い点

- ・15日間休まず遅刻や早退もなく通勤した。
- ・長時間の立ち仕事でも疲れた様子みせずに取り組んだ。

▲課題点

- ・挨拶は基本。周囲に聞こえるようにしっかりと。実習生は元気過ぎるほどの方が良い。仕事ができるかよりも挨拶ができるかで印象がかなり違う。
- ・この実習を頑張らないと！という必死さ、真剣さがあまり感じられなかった。卒業後の進路を決めるための実習であることをもっと意識して臨んでほしい。

【就労継続支援B型】

○良い点

- ・休まずに通うことができた。
- ・仕事を選ばずにどの仕事にも取り組んだ。
- ・利用者と協力しながら仕事をしたり会話をしたりできていた。
- ・前回よりも体力がアップした。
- ・前回の課題を意識して、今回は自分から報告できた。

▲課題点

- ・仕事と休憩時間の切り替えをして仕事に取り組んでほしい。
- ・取り組み方にムラがある。苦手な仕事にも一生懸命に取り組んでほしい。
- ・仕事であることを意識し、終わりの時間までしっかり取り組んでほしい。
- ・普段から、自分のことは自分ですることや家の手伝いをする習慣をつけておくとよい。

【就労継続支援A型】

○良い点

- ・休まずに自力で通勤できた。
- ・1回の口頭指示でしっかり理解して取り組めた。

▲課題点

- ・自分から時間を見て仕事に取り組むことや自分から挨拶や報告をし次の指示を聞くことができるとうよい。
- ・4時間仕事を持続する体力、持続力をつけてほしい。

～「自立」に向けて育てたい力～

体育の後片付けや給食後の掃除などで、お手伝いをしてもらおうと、感謝の言葉「どうもありがとう」が自然と出てきます。



「役割を持たせる」

何かの役割を果たした児童生徒に、大人が「褒める」、「感謝する」ことによって、「自己肯定感」が育まれてきます。そのことが自信につながっていきます。日頃から、学校と家庭と一緒に、お手伝いをする場面を意識して作っていきましょう。

